親父がライバル!!
(父と息子)2のどきどきラブキャンプ♥
DOJIN
R18
成人向け
松武
TAKESHI MATSU

松武個人誌

18歳未満の
購入・閲覧禁止

親父がライバル!!

(父と息子)^{2}のどきどきラブキャンプ♥

【WARNING】
この同人誌は18歳未満の購入・閲覧、
インターネット上の無断転載を禁じます。

R-18
ADULT ONLY

무단 전재 금지

未經許可不得轉載

Please do not use any artworks on your site without permission.
At least, I hope you e-mail me or respective artists before you post it.

【前書き】

皆さんこんにちは
松武と申します！

この度は「親父がライバル!!」
手に取って頂きありがとう
ございます！

最後までお付き合い頂けたら
幸いです！

ではまた後ほどあとがきで
お会いしましょう！

松武

はぁ
はぁ…

はぁ…
ちょっと…
まって…

ザッ

もう
足が…

動かん…

もう〜

だらしないぞ
せっちゃん

ワッ…

正ちゃん
早い…
早いよ！

それ〜！

ダダダダダ

はは…

相変わらず仲良いだろ親父たち

親父がライバル!!

(父と息子)^{2}のどきどきラブキャンプ

ホント…何も変わらんな…

到着〜!

さぁじゃあ早速テントだけ張っちゃおうぜ

おれ
ちょっと無理…

休ませて…

ドサッ

しょうがないなぁ
じゃあせっちゃんは
休んでなよ

俺たちの父親同士は
大学時代からの親友で
息子である俺たちも同い年

スマン…

そして死別離婚と
理由は違うが
どちらも父子家庭という
家庭環境なのだが…
それもあってか
いつしか毎年男4人で
キャンプに来るのが
定例になっていた

じゃあ
ソウシとシンゴ
手伝って

は～い

ハイ！

…なっていたのだが
俺はここ5年ほどは
参加していなかった…

なぜって…

創志の父ちゃんは
昔からスポーツ万能で
アウトドアカもめちゃ高く
明るい性格で人望も厚く
人柄も最高…と

俺の中で
パーフェクトな
理想の大人の男だった

その反対に

うちの父はどこにでもいるしがない万年平リーマン趣味も体力も甲斐性もなく子供みたいにわがままでお世辞にも俺の理想からはかけ離れていた…

小さい頃はそこまで気にならなかったがいつしかどうしても比べるようになってしまい

お～し出来た！

は～疲れた～

だんだんと父がカッコ悪くみじめに思えてしまって…この集まりに参加しなくなってしまったのである

ところが来年から創志が遠くの専門学校に行く事が決まりなかなか皆で集まる時間が作れなくなりそうだという事で

おしじゃあ早速川行くか！

今回はおじさんたっての願いという事で俺も久々の参加ということになったのである

おじさんの頼みなら…

クーラーボックス俺持ってくな

断るわけが無い…

おー川か！行こう行こう！

！

お せっちゃんが復活したw

だって気持ち良いじゃん川！

節哉おじさん自分の水中眼鏡持ってって～

まったく…

創志くん持って来て！

もー相変わらずだなおじさん

なんでこうも違うんだろ…

おっしゃ！
またゲットしたぜ～！
ビチ
ビチ
えーまた!?
はやっ!!

おじさんだけでもう7匹も獲ってる

なにいってんだソウシも一匹シンゴも三匹獲ってるじゃんか

昔は二人とも一匹も獲れなかったのにすごい進歩だよ

へへまあね

ピキャ

早々に飽きて0匹の人に比べたらね…

へーー

ポ

ははまあせっちゃんは最初から戦力として考えて無いからw

いやぁそれにしても…

…え

シンゴはこの5年でいい体になったな…

ビクッ

わわ…

ぺた

ぺた

パッと見で体大きくなったと思ったけど脱ぐとよくわかる

大胸筋とか特によくがんばってんだな

ヒ〜！

ドキドキ

おじさんに褒めてもらえた!!

う…うん体は鍛えてるんだ…

パッ

そっかどうりで！

えらいぞシンゴ

ポーンッ

これからもガンバレよ！

ガーン

も…もちろん

これからもガンバルよ

ヤマ～

だって俺の目標は…

おじさんなんだから…

おっしゃ！

パシャ

もう一匹獲ったよ

ピチピチ

これで12匹になったから一人三匹食える

もう良いんじゃない？

そうだな もう十分か

じゃあホラ せっちゃん 起きて～

えなに～

俺らで晩飯の用意すっから

二人は30分くらい遊んでから来なよ

あ…うん わかった

え～ 用意すんのめんどくせぇ

ほーら 行くよ

はあ…本当に違いすぎる…

親父はどんな気持ちで居るんだろ… 何も思って無いんだろな…

お～い シンゴ～

ボーっとしてどしたん遊ぼうぜ～！

お…おうわかった

ん？

あれクーラーボックス忘れてる

これ肉とかも入ってるけど必要無いんかな

魚あるしいらないんじゃね？

それより早く遊ぼうぜ～

ん～…

すぐ近くだし俺持ってってみるわ

こしょ

え～あそぼうよ～

少しでも

ちょっと遊んでですぐ行ってくる

あ、メガネ置いてく

おじさんの役に立ちたいし…

ポイッ

シンゴ

あれ…居なくね？
スタスタ
どこ…
ドクッ
え…
え…なに…何やってんの…
あっ…

ちょっと正ちゃん
ふざけてないで
早く着替えちゃ
おうよ

え…あっ
あぁ
スマンスマン

パ

ど…
どうしたんだ
シンゴ

あ…いや…
クーラーボックス
必要だったかなぁ
と思って持って来た

おう
サンキュー
サンキュー
置いといて！

うん…

ほら
後はやっとくから
戻って遊んでて
良いぞ

あ…うん…
じゃあ戻るね

ん～…
なんかめっちゃ
焦ってたような…
ん～…

あ…

あれ
創志も来たの？

うん
なんか…

一人でいても
つまんねぇなぁって

ワリィワリィ
もどろもどろ！

ん～なんか
テキトウだな

スタスタ

そう言うなって
川遊び川遊び！

てかあれ
何だったんだろ…

仲が良いのは
わかり切った事だけど
二人のあんな表情…

初めて見た…

ふざけてたって
言ってたし…
何も無いよな…

うん…気のせい
多分
気のせいだ

ごちそうさま～

あ～ うまかった～！

さて大分暗くなって来たからそろそろテント入るか～

だね～

ふわぁ～疲れたはよ寝たい～

せっちゃんもうおねむかまあゆっくり寝て

お前らも早く寝ろよ～

は～い

え？あれ？それぞれの家族で寝るんじゃないの？前はそうだったよね？

はぁ？お前いつの話してんだよ

もう親となんか寝てねぇよ

俺らは子供組あっちは親組それぞれのテント

いつの間に…

へ…へぇ

お前が参加しなくなって高校入ってからは
俺もうずっとひとりで寝てんだぜ
え…
ザッ
じゃあもう何度か親同士で寝てるんか…
寝て…
…って何を考えてるんだおれは…
ビサッ
キタッ
へぇ～そうなんだ
ラシャー ラシャ
で…ひとりで寝るの怖かった？
まあでも確かに高校生になって父親とテントってのも確かにきついか
は？ふざけろ怖くねぇし
それよりゲームしようぜゲーム！
話変えたやっぱ怖かったんだw
し…しつけぇ！
そう考えると自然な流れなのかもなぁ…

ん…

ガサッ

ダメ…

今日は子供二人いるから…

すぐには寝付いてくれないよ

ハァ…

うるせえ…

ベロッ

もうガマン出来るかよ…

あ…ダメ…声が…で…ちゃう

あっ

グイッ

すぐ隣に息子がいるんだぜ？バレても良いなら声出せよ…ほら

ぬりぬり

あ…ダメんっふぅ…

ビクン

お…親父い！

…え？あぁ…夢か…

ガー ガー

いつの間にか寝ちまってた…

はぁ～しかしなんて夢見てんだ俺は…いくら情けねぇ親父だとじても

あんな…あんなこと…

…ダメだ…

やっぱどうしても気になっちまう…

ZZZ

イッ

しょんべん…しょんべんしに来たんだ…うん
ザッ ザッ
明かりは点いてねえな…
寝息も…してない
スッ
あぁ…
ピクッ
なんだこの声…
はぁ
テントの中からではない
あ…
え…川の方から?
あぁ
やっぱり…
ザッ
あ…
段々大きくなってる…
ザッ
はぁ
ここ…
はあぁ

!!

はぁ…
あ…スゲ…

ん…っく

おいおいこれ
もじかじて…

ギアアアー…

ミチミチ

あぁ…

いや…そんな…

嘘だろ…

ムクッ

じゅる

やっぱ
しゃぶってる…

んぐ…

ぶいっ

ぶるん

あ…

えっ!?

あれ…？おじさんがしゃぶってる？

ぢゅぢゅ

ったくがっつきすぎだよ

じゃあ

もうちっと落ち着けねぇのかてめぇは

しゃぶらせてるのは親父!?

あぁ…

昼間も無理矢理しゃぶろうとしゃがって

もうちょっとでシンゴに見られそうになったじゃねぇか

ぜタッ

ぜタッ

あ…あん

だって…我慢出来なかった…んだもん…うぅ

あれ…おじさんがねだってたのか…

ったくしょうがねぇやつだなぁ

あんまハァハァうるせぇと見つかっちまうから

はぁ…はぁ…

俺が塞いでやる

グイッ

おぶっ…

う…ぶっうげは…ぶぶ

ブ…

ゴプ…

へへこれで少しは静かになるな

ゴプ…

クリグ…

うぶっ…

ぐっ…ガハッ

ブリュシッ

プリッ

ゲホゲホ…

んだよせっかく静かになるよう協力してんのによ

おら もっとがんばれよ

うん…ごめん…

うぐっ

ぶぷっ

ぶ…

はふう…

ニャ ニャ

まったく…どっちにしても声出るんだな

こまったドスケベだぜ

じゅぷぷ

なんか親父がめっちゃドSキャラなんだが…

あんな表情見たことねぇ…

ミキ ミキ

しかもなんだよ親父のチンコ…

じゅぷ

ぶぷっ

は…ぶはっ…

風呂とかで普段のしか見た事無かったが勃つとあんなにでけぇのか…

俺も結構でかい方だとは思ってたけど…親父の遺伝だったのかな…

グッ…

ん…ふぅ

んぐ…ぶふっ

ザァァァ…

ぶりゅん

がはっ

がは…げほ…

バーん…

なんだよ倒れちゃって

なにもしねぇなら帰るぜ

眠いし

スタスタ

え…ちょっと待って

まだもらってない…ここに…

ん？「ここ」ってどこだよ言ってみ？

ここ…おしりに…

なんだやっぱり欲しいのか

ニヤリ

ぐいっ

おしりに下さい

お前本当好きだよな

え…おしりって言った？

うん…大好き

んじゃ俺こうしてっから

お前好きに入れろよ

え…

動いてくんないの？

山歩きで足がガタガタなんだよ

イヤならやめるぞ

あ！そのままにしてて！

ぐっ

後は全部…自分でやる…から…んっ

ズプッ

くちゅっ

ビク

ん…んふぅ

くちゅ

くちゅ

おいさっさとしろよ

ん…待ってちょっと拡げないと…

ぐっぱ

くぱっ

ぐぱぁ

お前のデカいから…

くっ…

おーい早くしろよ

ハァハァ

うん…すぐ…

あと5秒な

え!?

ニヤニヤ

はい4…3…2…

ちょっと待って…

1

ズッ

ズッ

んっ…

は…！

あぁあぁあ
あっぁん

ズプ

プ

プ

プ

キッツイ…でも…

気ん持ちイイ…はぁ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

いてぇのに欲しがるんだなお前は…

ズッ

グッ

いてぇだけじゃ無いよ…

グッ

チュ

このキッツさがキモチイイんだもん…あっ

たまんねぇよ…んぐ…はあぁ

ガチュチュ

ふ～ん

昔から筋トレやら山登りやらキツイ事ばっかり頑張る奴だったもんな～

あっ

ズッ

ゲッチャ

ズッ

はっ

ブチュッ

あひっ

やっぱお前根っからのドMなんだろな～

ブチュッ

そうかもしんねぇな…

じぶんでもこんなハマると思って無かった…あぁぁ

あっ

ズッ

うわうわうわ

何だよこれ…

いつからこんな…アレなことに…

ドキドキ

すげぇだろ？

ビクッ

!!

そ…
そう…

バッ

バカ
聞こえんだろ

う…うん

てかおまえ
なんで驚かねぇ
んだよ

あれ…
親父同士…

ん？
あぁ…

ブチュ

どちゅ

俺が初めて
知ったのは
5年前かな…

5年前…
丁度俺が
参加しなく
なったとき…

シンゴが参加しなくなってからだな

それまでは家族単位で寝てたがそろそろテントで一人寝出来るようになれって

俺だけ一人で寝る訓練が始まったんだ

でも俺最初はシンゴが言ったようにやっぱちょっと怖くてさ…

親父たちのテントに行ってそこで見ちまったんだ…

最初は何のことかわからなかったけど…

その後色々と知識を得て察したわけだ

まさか…そんな前から…

いやいやあの二人は大学時代からの親友だぜ？

多分もっと前からの関係だと俺は思ってるけどね

そ…そうなのか!?

チュク

グチュ

ブチュ

じゃなきゃ年に数回あるキャンプだけでこんな淫乱野郎になるかよ…

い…淫乱野郎っておまえ…

ズッ

ジュプ

…ってかおまえふたりには何も言って無いのか？

なにを？

なにって…親…しかも男同士なんだぜ？

知った時点でなにか…

そんなん何も言えるわけねぇだろよ

元々親友同士その二人がその後も重ねて来た時間と関係の上で成り立ってることだぞ

そんな強い二人の関係に俺が何を言えるってんだ…

てか…俺だって…好きな奴とそうありたいし…

で…でもお前の父ちゃんあんな…

あんな…女みてぇになってんのに…

ああ…だな

俺も勿論最初はショックだったさ…

これまでもずっと…皆で居る時もずっとお前の父ちゃんの事意識してただろうに

子供の前だからってカッコつけてたんだぜ

俺らがガキの頃からスポーツ万能で何でも出来る大人の男ってイメージ守りたかったんだろうけどさ

そうだ…おじさんは俺の憧れでヒーローでなのに…あんな…

でもさ…

ホントはあんな事されてヒィヒィメスみたいになっちゃう人なのに…

ズッ

あっ…

相当俺らの前では頑張って虚勢張ってたんだなって思ってさ…

グチュ

あはっ

グポッ

なんつうか最初はダセエなぁみじめだなぁとか思ってたけど…いつしかそれ通り越していっそ意地らしいなかわいいなとまで思えるようになっちまったよ…

創志…

創志も俺と似たような想いをしてたのか…

それはさておき…お前はどう思ったんだ？

…え？

おまえ…ずっとうちの親父のこと好きだったろ？

男としてさ

え!?

な…何言ってんだよ俺はそんな…

隠さなくても良いんだよ

ガキの頃からずっと見てりゃわかるっつの

俺にとってお…違うじさんは男としての憧れ目標で…

へぇ～

憧れの対象があんな事されてるの見てこんな事になるもんなんだねぇ

あっ…ちょ…

ほらぁ…めちゃめちゃ勃起してんじゃん

ちょ…やめ…やめろよあっく…

ほれあんまでかい声出すとばれちゃうぜ？

ズチュ

くっ

ズッ

んん…

あっ

グチュ

どうせ一人でも見ながら抜こうとしてたんだろ？ええ？

れろ

なっ…

俺はただ手伝ってやるだけだから…色々細かい事考えてないで気持ち良くなっちまえよ

ぶるんっ

あっ!!

おー親父さんに似てお前もデカマラだな

ちょ…創志…やめっ…

ビクッ

ビクッ

ほら先走りダラダラでやっぱり出す気満々だったんじゃん

や…やめて…

なんだイヤイヤって前より後ろの方がいいのか？
グ
イヤ
え…
ちょ…創志…何を…あっ
ビクビク
ぺぺっ…
だめ…キタナイ…あっ
れろっ
ちゅぷ

おれは親父がうらやましい…

おれも…おじさんをあんなふうに啼かせてみたい

！

そうか…わかった…

んじゃせめて今は俺が代わりになってやる

ズリ

え…創志…

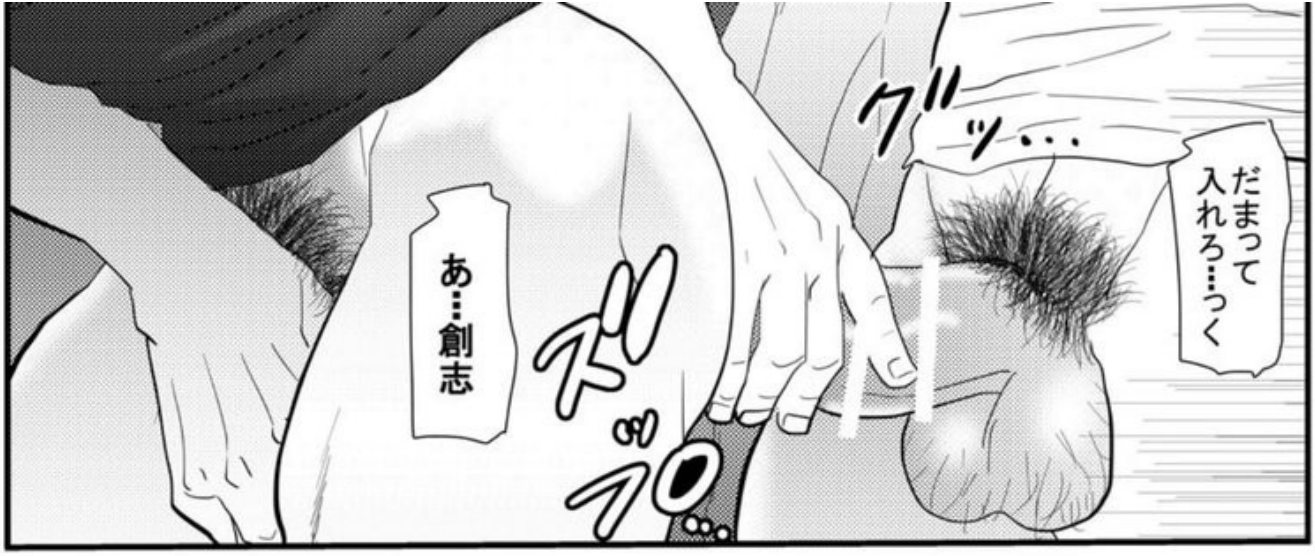
ルッ

なにいって…あっ

どいっ

うるせぇ

ダンッ


だまって入れろ…っく
グッ…
あ…創志
ズブ…

おまえ…全然拡げもしないで…切れちまうぞ
へ…
お前は「啼かせ」たいんだろ…？ならこのくらいで丁度良い…だろ…くううう
創志…おまえ…
くっ…っう…
ズブ…
あはあぁぁあ
ズブブブブ…
そ…創志…くっ

創志…
いいから…親父だと想いながら思う存分突けよ
親子だから…少しは似てんだろ…ははっ…
ぐっ…
覚悟しろよ…
ぐっ
ダンッ
あっ
おらっ…
おら…おら！
ズッ
ズッ
ズッ
はっ
はっ…くぅ
はぁぁ
ジリ
ジリ
ズッ
ズッ

くっ…
すっげ…
くふっ
ズッ
ズッ
ズッ
はぁ…
はぁ…
はぁ
チラ

おじさん…
あっ
ズッ
ああ
ズプ
はぁ…
おじさん…

あ…
あっ
ああっ
ズプッ
ズッ
ズッ
俺がいつか…
いつか絶対に啼かすから
それまで待ってて…

あ…
あぁ…
くっ…出るっ…
ん…んふ…んっ
シン…ゴ…
ビッビッ
ぶるん
ドクドク…
ドピュル…

やっぱり…好き…
え？…なに…
あっ…
！
は…あぁ
イク…イク
ビク
ビク
あっ…
あぁっ…
おら
飲め…っくは
あっ…あはぁ
ぴゅ
ぴゅ
ぴゅ

はぁ…
はぁ…
バタッ
は…はは おまえ…激しすぎ
ポンッ
はは…ははは おまえだって
……
はははは
シンゴ…あのさ…
くそ…
テント戻ろ…
あ…うん…
二人に気付かれる前にテントに戻ったが
創志とはその後一言も言葉を交わさないまま朝になった…

そして次の日も誰ともろくに話さぬまま下山の時間になった

つうか気まず過ぎて誰とも話せないんだっつの

……

ザッ

ザッ

お～いシンゴどした？今日ずっと元気ないな

もしかしてソウシとケンカでもしたか？

ここでおじさん

ドキッ

グイッ

そ…そんな事無いよダイジョブダイジョブ

ん～…なら良いんだけどさ

これ内緒なんだが…今回どうしてもシンゴ呼べって言ったのは俺じゃ無くてソウシだったんだ

え？

自分の都合で今年で四人でキャンプ出来る機会が最後かもって

だからどうしてもシンゴに来て欲しいって親父から言ってくれって…親父が言えば絶対アイツは来るからって

もちろん俺も来て欲しかったけど俺はシンゴの意思が一番重要だし尊重するべきだと思ってたから無理強いするつもりは無かったんだがな…

おじさんじゃ無かった…

だからさ…もしケンカしちまったんだとしてもさ…出来たら許してやってくれ…な？

なるほど…

そういうことか…

大丈夫だよおじさん…

ちょっと寂しくて落ちてたけどもう何も問題無いよ…

それなら…

ガシッ

だって今日が最後なんてこと絶対に絶〜〜対〜にさせないもん！

俺ももう何も我慢しねえ！

おう

わわっ

んっ

いっ

また来年からも集まろうぜ！

絶対にこの4人で

でもソウシがなかなか…

だ…大丈夫俺も来る！絶対どうにかして！

ソウシ…

あと親父ちょっとは体とか鍛えた方が良いぜ

は？俺？

俺はまだまだこれからどんどん成長する！

ぜったいに負けないから！

ドン

は？急になんだよ

シンゴ落ち着いて…

なんだよお前まで！

フシ

フシ

4者4様の想いが渦巻く男だらけのドキドキキャンプはこれからも続く事になりそうだ

うんなんかわかんないけどせっちゃんもがんばれ！

松武通信360

2019秋号

こんにちは、松武です！
はいというわけで「親父がライバル!!」を手に取って頂きましてありがとうございました！

この話はプロット段階では登場キャラ数や設定は同じだったんですがもうちょっとシンプルに
思春期の若い子がお父さん同士のまぐわいを見てしまってギャップにドキドキする
みたいなのを考えてたんですが
ちょっとばかし若い子達にもロマンスを与えたいなぁと考えてから四角関係みたいにしたら
どうだろうと練り直して今の形に収まりました。
なんだかんだでシンゴ、ソウシ二人にとっての「親父がライバル」になったんじゃないかなと
思っております！

今回の件でシンゴはシンゴで憧れではなく性的に男が好きだという事をハッキリ自認して
ソウシはソウシでシンゴの事を変わらずに好きで、お父さんたちはお父さんたちで好き合ってて
みたいな形が出来たんですが、シンゴは専門学校に行った後も一生懸命シンゴにアピールを
しているようです。
最初は噛ませ役のような立ち位置になるかと思いきや、まあ描いてるうちにソウシがいじらしくて
いじらしくて…可愛くなりました。。。
いつかはみんなスッポリと収まってくれたら良いのですが…さてどうなるかな。
ちょっと今後の事を自分で考えてても楽しいです。

皆さんも楽しんで頂けたら幸いです…

では最後までお付き合い頂き
誠にありがとうございました！

ではまたお会いしましょう！

2019/11/28　　松武

マサムネ☆コキチ

松武個人誌

親父がライバル!!

(父と息子)^{2}のどきどきラブキャンプ♥

未經許可不得轉載

무단 전재 금지

※無断転載・転写・転売
18歳未満者の購入・閲覧
インターネット上の無断
転載を禁じます。

2019年6月30日登録

松 武　takemaruc@hotmail.com
サークル名：『マサムネ☆コキチ』

DiGiket.com

親父がライバル!!
(父と息子)^{2}のどきどきラブキャンプ♥